



高橋優三 会長あいさつ



細井裕 奈良医大学長 あいさつ



山下真 奈良県知事 あいさつ



小林理事 会計報告



厳樞賞、厳樞賞学術奨励賞の授与



記念講演 黒田知宏京都大学教授 医療 DX の現状と未来





懇親会





最後の一本締め

代議員会 会長あいさつ

只今 紹介に預かりました 会長の高橋優三です。会長職を任されてから 1年経ちましたが、このかん、同窓会の円滑な運営にご協力を下さった皆様方に 深く御礼を申し上げます。特に会長職を終えられてからも、同窓会へ 格別な思いを持ち続けられて おられる顧問の先生方には、謝と敬意を表させていただきます。

さて代議員は、同窓会の重要な構成員ですが、普段の活動としては理事会と一般会員との繋役として機能し、同窓会の意思決定に役割を果たしていただきたく期待しています。

現在、同窓会から代議員への連絡は、郵送が正式なルートであります。メールアドレスを登録されている68名の代議員には、メールによる連絡を開始しております。68名は、代議員の約半数でありますので、現在の段階では 必須の情報を伝達するには使えませんが、近い将来にはメールによる連絡で代議員とのコミュニケーションを完璧なものにし、代議員が同窓会の活動に関与しやすい状況にします。このメールシステムの件、何卒、活用をよろしくお願いいたします。

皆様をご存知のように、来年、奈良医大は開学80周年を迎えます。昭和20年、終戦の混乱の時に開学して以来、決して平坦ではない道を歩みましたが、今日の姿は、先輩諸先生方の努力が実った証であります。そして同じく来年、新キャンパスが隣接地に完成します。これは、藤原京のイメージを彷彿させる外見だけでなく、奈良医大に新たなる飛躍をもたらす基盤となります。奈良医大にとってこの2つの目出度い行事が重なり、記念式典が来年5月に 開催されます。私も同窓会は、ぜひ祝意を表したく、本日の代議員会と総会で承認いただきましたら、新キャンパスの敷地に時計台の寄贈を致します。

時計台の周囲の整備につきましては、今後大学当局と話し合いを重ね、在校生や卒業生が、奈良医大での学びに愛着心を持ってくれるような形にしたいと考えております。

以上、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

総会 会長あいさつ

本日は、同窓の皆様のみならず、山下奈良県知事、細井奈良医大学長の臨席をいただきました。誠に有難うございます。山下知事に於かれましては、県政の大局だけではなく、隅々まで知っていただく意味で、奈良医大の同窓生が果たしている地域医療や人材育成の一端に触れていただく機会になりましたら幸いです。

奈良医大は創立以来5800 名もの医師を育て、世に送り出し、現在、5100 名ほどの卒業生が日本及び世界の医療を支え、医学の研究に邁進し、新しい医師の養成など、それぞれの任地で、専門性を活かして社会貢献をしています。

皆様方は、奈良医大の卒業生が特別の言葉で 賞賛される例に接する事があるかと存じます。そのような時、同窓

として大いなる誇りと感じます。そしてそれは奈良医大全体の名声として、やがて県民の耳にも帰って来ます。その積み重ねで、奈良県が医大を持っている事を、県民の誇りとなれば幸いです。

奈良医大の創立から80年、今日のレベルにまで発展し 地域及び 国内外に及ぼした目覚ましい影響は、奈良県の支えとそれに応えた卒業生および医大関係者の絶え間ない努力の結果であると、入学以来57年に渡って医大を見続けた私は感じております。

さて、来年、待望の新キャンパスが完工します。映画のロケーションに貸し出せるような校舎が建ち並び、かつての奈良医大の校舎を知る私どもの世代には 隔世の感があります。そして創立80周年、奈良医大にとって この2つの目出たい行事が重なりますので、これに祝意を表すべく、私ども同窓会は、本日の総会で承認いただきましたら、新キャンパスの敷地に時計台を 寄贈致します。在校生や卒業生が、奈良医大での学びに愛着心を持ってくれるような 記念碑になることを 願っております。

母校奈良医大は優れた人材を、これからも 世に送り出します。我々同窓会の役割は、その人材が、才能の花を咲かせ、社会に役立つように 相互扶助する事であります。皆様方のご活躍を祈念いたします。

以上、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。